

(C) 上腕骨顆上骨折

※柔理テキスト P205~213

[特徴]

幼児 (5~8歳) に好発 肘周りの骨折では最多

[分類] (骨折線による)

近位型… 骨幹部と顆部の境界線

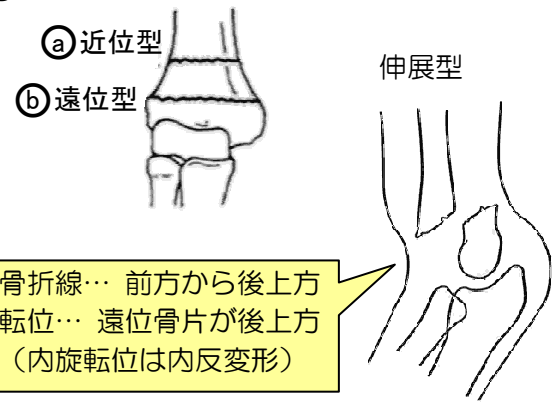
遠位型… 内側上顆、外側上顆の直上 (成長障害に注意)

[分類] (発生機序による) ※伸展型の発生頻度が高い(98%)

伸展型骨折: 肘関節**伸展位**で手を衝き転倒、肘関節部に**前方凸の屈曲力**が働いて発生

◎ 伸展型骨折の場合、遠位骨片の骨折面における内旋転位は必然的に内反を引き起こす

屈曲型骨折: 肘関節**屈曲位**で肘部を衝き転倒、上腕骨遠位端部に**後方凸の過屈曲力**が働き発生

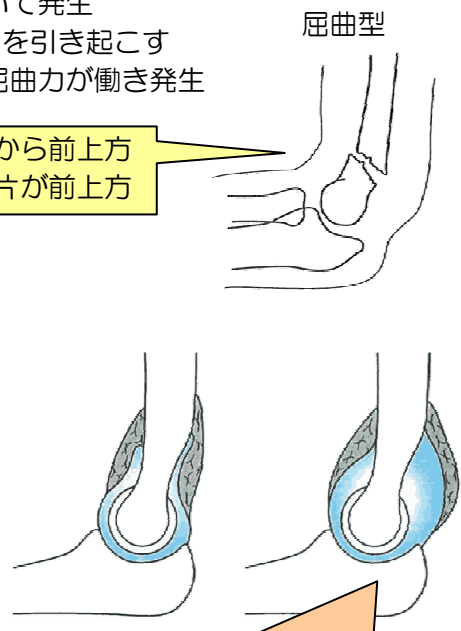


骨折線… 前方から後上方
転位… 遠位骨片が後上方
(内旋転位は内反変形)

[症状]

- 腫脹… 肘関節に著明(骨髄、軟部組織からの出血の為)
- 疼痛… 限局性圧痛、運動痛、自発痛全て著明
- 機能障害… 肘関節の運動不可 (屈伸運動障害)
- 異常可動性及び軋轢音
- 変形… 伸展型は**肘関節後方脱臼と類似**の外観
- 肘関節の厚さと幅の増大… 近位骨片に遠位骨片が騎乗する為
- 神経損傷… 正中、橈骨、尺骨神経に起こる とくに**正中、橈骨**神経に多発

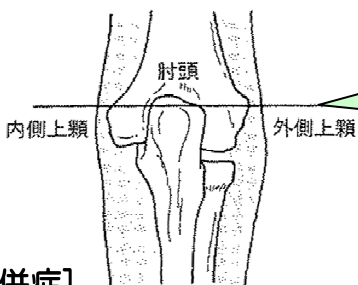
骨折線… 後方から前上方
転位… 遠位骨片が前上方



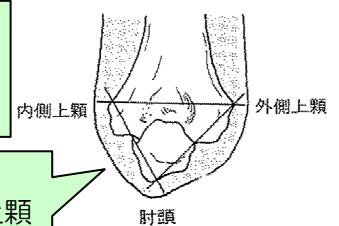
ファッドパッドサイン
このサインは通常、肘頭窩などにある脂肪組織が関節内骨折による血腫で圧迫される為、起こる透亮像である

[鑑別診断]

	顆上骨折伸展型	肘関節後方脱臼
年齢	幼児に多い	青年に多い
疼痛	限局性圧痛	連続的脱臼痛
腫脹	速やかに出現	漸次出現
他動運動	異常可動性	弾発性抵抗
ヒューター線	肘頭正常位置	肘頭高位
上腕長	短縮	不変
前腕長	不変	短縮



ヒューター線
肘関節を伸展し、後方から見た場合、内側上顆と外側上顆を結ぶ線。正常なら線上に肘頭が存在する



ヒューター三角
肘関節を屈曲し、後方から見た場合、内側上顆と外側上顆、肘頭を結ぶ三角。正常なら、肘頭を頂点とした下向き二等辺三角形を形成する

[合併症]

☆併発・続発症

- 循環障害… 阻血の5Pに注意する! *阻血の5P (蒼白、疼痛、拍動消失、麻痺、知覚異常)
- 神経損傷… 正中・橈骨神経の損傷
- 皮膚損傷… 近位骨片端による皮膚損傷で、小孔から出血を認める開放性骨折となることがある

☆後遺症

- 阻血性拘縮… 阻血性拘縮 (フォルクマン拘縮) は上腕骨顆上骨折が最多である
- 骨化性筋炎… 暴力的な手技により起こる
- 屈伸障害… 特に屈曲障害 傾斜角 (TA) の整復が不完全な場合に起こりやすい
- 形態的变化… 内反肘 > 外反肘 上腕骨顆上部後内側は骨膜が厚いため、内反内旋変形を遺残しやすい

